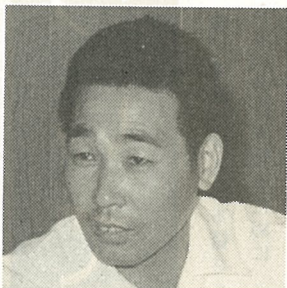


生活改善についての座談会



小川 せい子
(光町婦人会長)



越川 毅
(厚生課)



伊藤 むつ子
(改良普及所)



司会 戸村 正

話し合いをした人たち

(敬称略)

司会 八日市場保健所の小川さんにお聞きしたいですが、こういった調査が行われて、また、保健所でも栄養の調査というものは行っていると思いますが、栄養のバランスが非常にわるいんだという話ですが、また結果が出ていますが、原因はどこにあると思いますか。小川 幸 保健所で把握しているのは、国民栄養調査、県民健康調査の結果でもあげられていますが、十年前から比べて見ますと、動物性のたんぱく質、脂肪類は増加しているものの、カルシウム、ビタミンA・B・B1・B2が基準量よりも下回っている結果が出ているしまた、昨年光町の一部落を対象に行いました県民健康調査の結果を見ても高血圧者、貧血の要注意者が数多くあげられています。

この結果を見ましても一言に食生活だけがいけないということではなく、他の労働時間なども関係あるのではないかと思います。で、バランスのとれた食事などを注意することによって、高血圧者、貧血者を予防することも出来るし、また減ることも出来ると思います。

司会 保健所の先生のお話して、栄養のことについてはよくわかったんですが、栄養改善協議会としてはどう考えているんでしょうか。椎名ナツエ 栄養改善協議会としては、各地区一部落を指定して、料理教室を開催するよう計画したが、私たち白浜地区では尾垂六区を指定しました。尾垂部落は海岸線に住んでいる人と、農家と環境が違っているので一概にはいえませんが、栄養のバランスはあまりよくないと聞いていましたので、役場の厚生課と話し合って決定いたしました。すでに第一回の料理教室を終りました。

ここで一番困ることは、材料費のことであつたんです。本当は自分たちが栄養を勉強することであつて、自費を持ってやるということが一番いいことであるんですけども、そこに自分でお金を出して勉強ということに対して関心が薄いということです。

役場の厚生課へのお願いとしてもう少し補助金を出してもらえれば料理教室も充実し、効果も上がると思います。

料理教室というと皆さんずいぶんお集りになってくれますので、料理を習いながら、また家庭教育についてもお互いに話し合いが出来るので、相当の効果が期待出来ると思っています。

先日も三十八名集りました。後で結果を聞きますと、こういうことは大いによいことだからやっていただきたいということですが、一番金銭的な問題にからんで困るということですね。ですから出来るだけ役場の方へ援助してもらいたいと思っていますが、予算がないということであるんですけれど、栄養改善協議会としてはこれが一番末端まで浸透することで、いいことだと思います。

奥様がたが出稼ぎに出ているときは、おばあちゃんが集って来てくださるし、また中央に集るのはなかなか困難であるので、部落の青年館を利用すれば大いに効果も上ります。

是非、これはことし一杯続けたと思っています。

司会 婦人会としては、どう考えているんでしょうか。

小川せい子 婦人会といっても名称が違っただけであつて、人は栄養改善協議会と重複しているのが多いですね。出席する人はほとんど婦人会員です。

椎名とく 農協婦人部は、ことし独立しまして、先日、総会をやり